

平成29年6月13日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院消化器内科に、潰瘍性大腸炎で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学第二内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

潰瘍性大腸炎のモニタリングに関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学第二内科学講座 第二内科・准教授・加藤順

3. 研究の目的

潰瘍性大腸炎の炎症モニタリングの基準は内視鏡検査であるが、頻回に実施することは困難であり、代替ツールとして血液検査が有用かを内視鏡所見と比較し検討するため。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎の患者さんで、平成22年5月1日から平成28年8月31日までの期間中に、下部消化管内視鏡検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、下部消化管内視鏡、血液検査に関する情報です。

(3) 方法

内視鏡的活動度を Mayo Endoscopic Score (大腸粘膜の炎症の強さを測る尺度) で評価し、血液検査データ (PLT, ARB, CRP) と統計を用いて比較検討し、相関関係を明らかにする。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学第二内科学講座 担当医師 内原 麻友

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-445-3616

E-mail : fuuchan@wakayama-med.ac.jp